

要請番号 (SL31221C01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
チリ	G161 体育		個別	交替 4代目	2年	・ 2022/1 ・ 2022/2 ・ 2022/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

国際協力庁

2) 配属機関名 (日本語)

ペドロ・アギレ・セルダ国立リハビリテーションセンター

3) 任地 (サンチアゴ) JICA事務所の所在地 (サンチアゴ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はチリ唯一の国立身体障害者リハビリ専門病院。主に25歳までの身体障害者や脳血管障害による成人身体障害者に対して、身体・精神・社会的な視点から総合リハビリ治療を行う他に、人材育成、研究も実施。職員数は約200名、病床数39であるが、入院や診察、地域リハビリにより年間約6,000名に対応。リハビリ医学、運動療法、作業療法、言語聴覚、栄養、心理、ソーシャルサービス、看護、小児科、神経科、院内学級から成る。JICAの協力では、これまでに身体障害者リハビリテーション技プロ、第三国研修等の南南協力、ボランティア派遣(言語聴覚士、歯科衛生士、障害児体育等)実績あり。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先ではスポーツやレクリエーションを通し、身体障害者の社会参加を促進させることを目的として、水泳、ボッチャ、サッカー、車いすバスケットボール等を障害者に指導している。2016年1月-2019年1月に長期SVが活動。その後、2019年7月から2020年6月迄の予定で短期SVが活動をしていた。これまでのSVの活動により、「障害者水泳教室」ではチリ全国大会でのチーム優勝四連覇を達成し、教え子の1人は2019年5月に行われた「パラリンピック水泳ワールドシリーズ・サンパウロ大会」において3種目で3つの銅メダルを獲得した。今後も継続して、成長する選手に向けた専門的な国際選手レベルの技術指導と指導者育成が継続して必要であることから、隊員の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

スポーツリハビリ課職員と共に下記の業務を行う。

1. センター利用者に対して水泳を中心とした障害者スポーツ全般の指導と障害に応じた練習方法の提案
2. 院内障害者水泳チーム(KOI-INRPAC)の強化指導。国際大会に向けた選手育成の専門的指導も含まれる。
3. センターの「障害者水泳教室」の運営・指導方法を他自治体へも広げ、障害者スポーツとしての水泳の普及を支援する

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

障害者スポーツ用器具全般(卓球、バスケット、ボッチャ、サッカー等)、水泳練習用プール(市内2か所)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属課上司:女性(40歳代 理学療法士)

カウンターパート:スポーツリハビリプログラムのコーディネーター

男性(20歳代 理学療法士 経験年数6年)

活動対象者:センター利用者(院内学級含む)、院内障害者水泳チーム (20-50歳代)

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（中学校又は高等学校教諭（保健体育））
（初級障がい者スポーツ指導員）

[学歴]：（大卒） 備考：教員免許が必要

[性別]：（女性） 備考：配属先の希望

[経験]：（指導経験）15年以上 備考：水泳指導経験要

[参考情報]：

- ・障害者水泳実技指導が10年以上

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（地中海性気候） 気温：（0-30℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】